

## 会報

### 日本食品化学学会 2019 年度第 1 回理事会議事録

- 日 時： 2019 年 3 月 16 日（土）13：00～16：00
- 場 所： 大阪ガーデンパレス 2 階 楓（大阪市淀川区西宮原 1-3-35）
- 出 席： 今井田 克己、合田 幸広、山崎 裕康、穂山 浩、井上 健夫、小川 久美子、奥村 克純、小関 良宏、  
日下部 哲也、手島 玲子、中江 大、中村 宗一郎、松浦 寿喜、鰐淵 英機、辻村 英雄、井之上 浩一、  
尾崎 麻子（以上 17 名）
- 欠 席： なし

#### 【議 案】

1. 2019 年度 第 25 回総会・学術大会について
2. 2018 年度 事業報告書案および決算報告書案の作成（総会提出議案）
3. 2019 年度 事業計画書案および収支予算書案の作成（総会提出議案）
4. 第 21 回 奨励賞受賞者の決定
5. 第 14 回 論文賞受賞者の決定
6. 日食化誌の予定と進捗の報告
7. 名誉会員の推薦（総会提出議案）
8. 評議員会提出議案について
9. 次々期（2021 年度）学会長の総会への推薦（総会提出議案）
10. 2020 年度シンポジウム専門担当理事の選任
11. 次期理事長候補、次期副理事長候補について（総会提出議案）
12. 次期理事・監事候補および役割分担について（総会提出議案）
13. 学術著作権協会への転載許諾事業委託について
14. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関すること）

## 1. 2019 年度 第 25 回総会・学術大会について

中村理事より第 25 回総会・学術大会の内容および準備状況について説明があった。

### (1) 第 25 回総会・学術大会の開催

- 学 会 長： 中村 宗一郎 (信州大学 理事・副学長)  
 日 時： 2019 年 6 月 6 日 (木) ～ 6 月 7 日 (金)  
 場 所： キッセイ文化ホール (長野県松本市水汲 69-2)  
 学会長講演： 「食と健康」  
 中村 宗一郎 (信州大学 理事・副学長)  
 招待講演①： 「味噌中の短鎖ペプチドの構造と機能」  
 佐藤 健司 (京都大学 農学研究科応用生物科学専攻 海洋生物生産学講座 教授)  
 招待講演②： 「食品成分の腸管吸収動態」  
 松井 利郎 (九州大学 農学研究院生命機能科学部門 食料化学工学講座 教授)  
 招待講演③： 「運動+栄養摂取の相乗効果-その背景と効果のエビデンス-」  
 増木 静江 (信州大学 先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門 教授)  
 特別講演： 「食品安全行政の現状と課題 (仮)」  
 吉田 易範 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長)  
 奨励賞受賞者講演：  
 一般発表： 口頭およびポスター (演題募集)  
 関連行事： ①若手優秀発表賞、②交流会 (6/6、ホテルブエナビスタ)、③企業展示 (募集中)、  
 ④ランチョンセミナー (2 社受付済)  
 参 加 費： 学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円  
 交流会 (予定) 事前申込 7,000 円、当日申込 9,000 円、学生 3,000 円

### (2) 第 25 回総会・学術大会実行委員 (27 名) の承認

学術大会運営の為、下記 27 名の実行委員の推薦があり、承認された。

中村 宗一郎 (大会長) (信州大学)	片山 茂 (実行委員長) (信州大学)
植村 健 (信州大学)	廣田 直子 (松本大学)
友竹 浩之 (飯田女子短期大学)	小木曾 (古田) 加奈 (長野県立大学)
蟻川 幸彦 (長野県工業技術総合センター)	山中 仁木 (信州大学)
柴 克宏 (伊那食品工業株式会社)	佐久間 義則 (日本食品分析センター)
秋場 高司 (アサヒグループ食品株式会社)	荒井 祥 (株式会社ウエノフードテクノ)
古久保 進 (サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社)	瀧川 義澄 (アジレント・テクノロジー株式会社)
金城 輝則 (アジレント・テクノロジー株式会社)	古庄 義明 (ジーエルサイエンス株式会社)
井口 えい子 (ジーエルサイエンス株式会社)	植田 泰輔 (シグマアルドリッチジャパン合同会社)
四柳 雄一 (株式会社島津製作所)	原田 修一 (林純薬工業株式会社)
北川 千花 (林純薬工業株式会社)	水井 浩司 (富士フィルム和光純薬工業株式会社)
今立 恵美 (株式会社食品化学新聞社)	清水 亮輔 (日本食品添加物協会)
中川 誠 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)	森本 隆司 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)
唐澤 幸司 (伊那食品工業株式会社)	

## 2. 2018 年度 事業報告書案および決算報告書案の作成 (総会提出議案)

下記の内容で総会への提出が承認された。

### (1) 第 24 回総会・学術大会の記録

- 学 会 長： 中江 大 (東京農業大学応用生物科学部 教授)  
 日 時： 2018 年 5 月 17 日 (木) ～ 5 月 18 日 (金)  
 場 所： 東京ビックサイト (東京都江東区有明 3-11-1)

学会長講演: 「生活習慣病とがん: 食事組成の変化による動物モデル」

中江 大 (東京農業大学応用生物科学部 教授)

特別講演 (1): 「食品のリスク評価と食品安全委員会」

吉田 易範 (内閣府食品安全委員会事務局評価第一課長)

特別講演 (2): 「Glucose-releasing Rate (GR): an in vitro method designed to predict glycemic index values of foods and meals」

佐々木 一 (神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科 教授)

特別講演 (3): 「食品安全行政の現状と課題」

関野 秀人 (厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課長)

特別講演 (4): 「森林資源の有効利用～キノコの機能性と人工栽培を通して～」

江口 文陽 (東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授)

奨励賞受賞者講演:

「二枚貝をはじめとした各種食品中呈味成分の食品化学的研究」

齊藤 (北岡) 千佳 (麻布大生命・環境科学部食品生命科学科 助教)

「薬用植物を基原とする健康食品の品質評価に関する研究」

政田 さやか (国立医薬品食品衛生研究所生薬部 主任研究官)

一般発表: (口頭) 16 題、(ポスター) 39 題

参加者数: 258 名 (内訳: 会員 126 名、非会員 73 名、学生 19 名、来賓 13 名、スタッフ等 27 名)

関連行事: ① 評議員会

② 若手優秀発表賞

・口頭発表部門

A-3 「Single Reference HPLC 法によるセサモール、セサミン、エピセサミン、セサモリンの一斉分析法の検討」

高橋 未来 (立命館大学大学院薬学研究科)

A-6 「高水溶性非晶質クルクミンの開発と水溶性向上機序の解析」

長野 一也 (大阪大学大学院薬学研究科)

・ポスター発表

B-1 「シクロデキストリンの添加がクルクミン/ポリビニルピロリドン複合体の安定性に与える影響」

君波 奈緒 (大阪薬科大学製剤設計学研究室)

B-9 「フェルラ酸ルチノシドの BDNF 産生促進作用と Caco-2 細胞透過性」

松本 果楠子 (信州大学大学院総合理工学研究科農学専攻)

B-21 「 $\alpha$ -リノレン酸ジアシルグリセロール油の安全性に関する検討」

武士田 寛人 (花王株式会社安全性科学研究所)

③ 交流会 (5月17日 18:00 ~、参加者数 94 名)

④ ランチョンセミナー 2 件

⑤ 企業展示 12 件

参加費: 学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円

交流会 事前申込 6,000 円、当日申込 8,000 円、学生 2,000 円

## (2) ifia JAPAN 2018 食の安全・科学フォーラム 第 17 回セミナー & 国際シンポジウムの開催

テーマ: 東京オリンピック・パラリンピックに向けた食品のトータルな安全管理

Mission of Food Safety for TOKYO 2020

主催: 日本食品化学学会、日本食品微生物学会、日本食品衛生学会

共催: JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社

日時: 2018 年 5 月 16 日 (水) 10 時 00 分 ~ 16 時 50 分 (受付開始 9:30 分)

場所: 東京ビッグサイト 会議棟 6 階 605・606

演題及び講師:

第一部 フードテロ対策の国際動向

「米国食品安全強化法 (FSMA) に対応した食品防衛計画構築に向けた、脆弱性評価事例の紹介」

江藤 裕 (NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会)

「我が国の食品防衛の取組」

山野 淳一 (農林水産省 消費・安全局)

「ロンドン 2012 での食品安全について」

ジェニー・モリス (英国食品基準庁)

第二部 オリピック・パラリンピックを見据えた現場の食品安全対策

「HACCP 制度化の動向と日本食品衛生協会の取組」

桑崎 俊昭 (公益社団法人 日本食品衛生協会)

「小売業における食品安全対策について」

岸 克樹 (イオンリテール株式会社)

「マルハニチログループのフードディフェンスの取り組み」

中原 千秋 (マルハニチロ株式会社)

「食中毒事例での発生要因解析から見える食中毒防止対策」

工藤 由起子 (国立医薬品食品衛生研究所)

参加者: 98 名

参加費: 前売り一般全日 14,000 円、前売り一般半日 8,000 円、  
前売り会員全日 9,500 円、前売り会員半日 6,000 円、  
当日 18,000 円

### (3) 第 34 回食品化学シンポジウムの開催

担当理事: 井上 健夫 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)

テーマ: 食品行政をめぐる諸課題とその動向について

日時: 2018 年 11 月 1 日 (木) 13:15 ~ 17:00

場所: 日本薬学会長井記念ホール (渋谷区渋谷 2-12-15)

講演 (1) 新規評価方法の食品安全への導入

(前) 内閣府食品安全委員会委員 山添 康

講演 (2) 「健康食品」の安全性確保の取組について

厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課 新開発食品保健対策室長 森田 剛史

講演 (3) 食品添加物のリスク評価について

東京農業大学応用生物科学部食品安全健康科学科教授 中江 大

講演 (4) 器具・容器包装の PL 化について

国立医薬品食品衛生研究所添加物部第三室長 六鹿 元雄

講演 (5) 食品表示の現状と課題

消費者庁食品表示企画課 赤崎 暢彦

講演 (6) 農林水産物・食品の輸出について-現状と展望-

農林水産省食料産業局輸出促進課長 横島 直彦

参加者数: 104 名 (会員 58、非会員 26、学生 1、招待・報道 8、主催者 5、講演者 6 名)

会費: 日本食品化学学会員 / 個人・法人会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生 無料

### (4) 日本食品化学学会誌 第 25 巻の発行

第 25 巻 1 号の発行 発行日: 2018 年 4 月 26 日 発行部数: 950 部

論文 5 編 ノート 3 編 総頁数: 88 頁

第 25 巻 2 号の発行 発行日: 2018 年 8 月 27 日 発行部数: 950 部

論文 4 編 ノート 3 編 総頁数: 78 頁

第 25 巻 3 号の発行 発行日: 2018 年 12 月 21 日 発行部数: 950 部

論文 7 編 ノート 1 編 総頁数: 80 頁

### (5) 理事会及び各種委員会の開催

理事会: 2 回 (書面理事会 1 回)、評議員会: 1 回、編集委員会: 1 回

### (6) 会員数

2018 年 12 月 31 日現在: 個人会員 587 名、法人会員 65 法人、名誉会員 18 名

(7) 2018 年度決算報告書案の作成

**2018 年度決算報告書 (案)**

(2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日)

収 入			支 出		
	予算金額	決算金額		予算金額	決算金額
会費 (個人)	1,887,000 円	1,701,000 円	学術雑誌発行費	3,300,000 円	3,678,808 円
会費 (法人)	2,490,000 円	2,400,000 円	学術大会費	400,000 円	661,940 円
会費 (賛助)	0 円	0 円	シボゾム費	200,000 円	166,497 円
投稿料	600,000 円	746,000 円	表彰費	380,000 円	380,696 円
広告料	900,000 円	1,010,000 円	会議費	250,000 円	151,469 円
雑収入	150,000 円	245,395 円	ホームページ運営費	160,000 円	149,856 円
			旅費・交通費	500,000 円	322,000 円
			賃借料	0 円	0 円
			印刷費	90,000 円	116,014 円
			郵送費	500,000 円	446,868 円
			振替手数料	80,000 円	73,896 円
			事務費	200,000 円	114,435 円
			予備費	50,000 円	0 円
(収 入)	(6,027,000 円)	(6,102,395 円)	(支 出)	(6,110,000 円)	(6,262,479 円)
前期繰越金	3,903,018 円	3,903,018 円	次期繰越金	3,820,018 円	3,742,934 円
合 計	9,930,018 円	10,005,413 円	合 計	9,930,018 円	10,005,413 円

2019 年 2 月 7 日

事務局長 山崎 裕康

**会計監査報告**

上記の決算書を承認するとともに、会則に従って適正に執行されたと認めます。

2019 年 2 月 27 日

監 事 井之上 浩



尾崎 麻子





「洗浄・殺菌に係わる近年指定された食品添加物（仮）」

久保田 浩樹（国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部）

「野菜の洗浄・殺菌の最新技術と次亜塩素酸の効果的な使用方法」

福崎 智司（三重大学 大学院生物資源学研究科教授）

「カット野菜の安全性と製造管理（仮）」

宮下 隆（キューピー株式会社）

#### (4) 日本食品化学学会誌 第26巻の発刊

第26巻1号 2019年 4月発刊予定

第26巻2号 2019年 8月発刊予定

第26巻3号 2019年 12月発刊予定

#### (5) 理事会および各種委員会の開催

理事会： 1回、 評議員会： 1回、 編集委員会： 1回

### 3-2. 収支予算書案

#### (1) 2019年度収支予算書案の作成（総会提出議案）

（2019年1月1日～2019年12月31日）

収 入			支 出		
項目	単価	予算金額	項目	数	予算金額
個人会員（584名）	¥3,000	¥1,752,000	学術雑誌発行費	3	¥3,500,000
個人会員（滞納分）	¥3,000	¥213,000	学術大会費	1	¥400,000
法人会員（65社81口）	¥30,000	¥2,430,000	シンポジウム費	1	¥200,000
法人会員（滞納分）	¥30,000	¥30,000	表彰費		¥380,000
賛助会員（0社）	¥30,000	¥0	会議費		¥250,000
投稿料		¥740,000	ホームページ費		¥160,000
広告料		¥1,000,000	旅費・交通費		¥400,000
雑収入		¥230,000	印刷費		¥120,000
			郵送費		¥450,000
			振替手数料		¥80,000
			事務費		¥200,000
			予備費		¥30,000
（収入）		¥6,395,000	（支出）		¥6,170,000
前期繰越		¥3,742,934	次期繰越金		¥3,967,934
合計		¥10,137,934	合計		¥10,137,934

### 4. 第21回奨励賞受賞者の決定

選考の結果、以下の2名に奨励賞を授与することが決定された（五十音順）。

- 候補者： 田村 倫子

研究課題：トランスクリプトーム解析を利用した、食材の機能性と品質に関わる遺伝子群の探索

- 候補者： 増本 直子

研究課題：健康食品及びその素材の品質確保に関する研究

## 5. 第14回論文賞受賞者の決定

合田編集委員長より編集委員から推薦された候補について説明がなされ、選考の結果、第13回論文賞として、下記論文に授与することが決定された(学会誌掲載順)。

- 「Effect of sodium carboxymethyl cellulose in processed rice foods on detection of genetically modified rice-derived DNA」  
Kiyoko Nakanishi, Uki Fujii, Takashi Ohtsuki, Shinya Kimata, Keisuke Soga, Masahiro Kishine, Junichi Mano, Reona Takabatake, Kazumi Kitta, Kiyomi Ohmori, Hiroshi Kawakami, Hiroshi Akiyama, Megumi Ikeda, Kosuke Nakamura, Kazunari Kondo  
Vol.25(2), 77-85(2018)
- 「Identifying the origin plant of starches by numerical description of the coloration of iodine-starch reaction solutions」  
Tamaki Miyazaki, Yukio Aso, Yukihiko Goda  
Vol.25(3), 145-151(2018)

合田編集委員長より広告主論文賞について株式会社島津製作所から申請があり、編集委員からの候補について説明がなされ、下記論文に授与することが決定された。

- 「Inhibitory effect of black ginger (*Kaempferia parviflora*) constituents on nitric oxide production」  
Hiroyuki Fuchino, Nanami Fukui, Osamu Iida, Hiroshi Wada, Nobuo Kawahara  
Vol.25(3), 152-159(2018)

## 6. 日食化誌の予定と進捗の報告

合田編集委員長より投稿および審査状況は順調であることが報告された。

## 7. 名誉会員の推薦(総会提出議案)

2019年度の該当者はなかった。

## 8. 評議員会提出議案について

議案として、以下の議案を提出することとなった。

- (1) 本会の会務・事業などに関する意見など

## 9. 次々期(2021年度)学会長の総会への推薦(総会提出議案)

次々期学会長として、小川理事を推薦することが承認された。

## 10. 2020年度シンポジウム専門担当理事の選任

日下部理事が2020年度シンポジウム担当理事に選任された。

## 11. 次期理事長候補、次期副理事長候補について(総会提出議案)

次期理事長候補として小関理事を候補とすることが互選により決定された。

次期副理事長候補について、合田副理事長、辻村理事が指名された。



## 12. 次期理事・監事候補および役割分担について（総会提出議案）

理事会より以下の候補者が推薦された。

（任期：2020年1月1日～2021年12月31日）

	役職	氏名	役割分担	所属・役職
1	理事長	小関 良宏		東京農工大学工学部生命工学科 教授
2	副理事長	合田 幸広	編集委員長	国立医薬品食品衛生研究所 副所長
3	副理事長	辻村 英雄		サントリー食品インターナショナル株式会社 取締役副社長
4	理事	穂山 浩	副編集委員長	国立医薬品食品衛生研究所 食品部長
5	理事	井之上 浩一	事務局長	立命館大学薬学部 准教授
6	理事	井上 健夫		三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役常務執行役員
7	理事	小川 久美子	2021年度 学会長	国立医薬品食品衛生研究所 病理部長
8	理事	奥村 克純		三重大学大学院生物資源学研究科 教授
9	理事	日下部 哲也	2020年度 シンポジウム担当	大阪市立大学大学院医学研究科 医薬品・食品効能評価学 教授
10	理事	佐藤 恭子		国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部長
11	理事	中江 大		東京農業大学応用生物科学部 教授
12	理事	松浦 寿喜		武庫川女子大学生活環境学部 教授
13	理事	矢野 竹男		三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授
14	理事	良永 裕子		麻布大学 生命・環境科学部 教授
15	理事	鰐淵 英機		大阪市立大学大学院医学研究科 教授
1	監事	伊藤 美千穂		京都大学大学院 薬学研究科 准教授
2	監事	尾崎 麻子		大阪健康安全基盤研究所 衛生化学部 主幹研究員

### 13. 学術著作権協会への転載許諾事業委託について

穂山理事より以下の報告がなされ、承認された。

- ・学術著作権協会に転載許諾事業を委託したこと（開始日：2019年4月1日）
- ・営利目的で無い転載は無料とすること

### 14. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関する事）

- 学会誌の学術情報データベース（EBSCOhost）収録について  
EBSCOよりデータベースへの収録依頼があった。
  - ・依頼について協議し、現在、J-STAGEにて既に公開している部分については公開とする。
  - ・非公開部分については編集委員会にて検討の上、EBSCOhostにて公開するかを決定する。

以上